

2017年7月16日 (日)

216 写真ニュース

ヘイトデモ許さない 川崎

: 党神奈川 教育宣伝委員会発行

STOP HATE SPEECH
ヘイトスピーチ
許さない
KAWASAKI
AGAINST
RACISM

差別のないかわさきを!

人種差別デモに怒り・抗議!

七月十六日(日)川崎市中原平和公園前において「ヘイトスピーチ抗議・集会」が神奈川県警の過剰警備とも思われる物々しい光景の中で行われました。

「川崎発日本浄化デモ」と題し、これまで川崎市・桜木地区を標的に「ゴキブリ朝鮮人は出て行け」「ぶち殺せ」などヘイトスピーチを繰り返してきた確信的差別主義者らはブログで「日本人を甘く見ない方が良い、川

崎でデモ実施」と宣言。「日本第一党」最高顧問も、「もう一度リベンジします」とブログに書き込んでいました。

「『ヘイトスピーチを許さない』かわさき市民ネットワーク」の呼びかけに約1000人(主催者発表)の市民が抗議行動に参加、「差別をやめろ」「帰れ」などとシュプレヒコールでデモに抗議。デモ隊は予定した出発地点から約800メートル先の路上にこそそそ出沒、約200メートル先に停車していた大型バスに乗り込み、逃げるように現場を後にしました。その間約10分程度。

デモを誘導したのは神奈川県警



ヘイト抗議行動に参加した約1000人の市民と過剰警備の神奈川県警



社民党神奈川写真ニュース

反ヘイト

抗議行動に1000名！

ヘイトスピーチ解消法の次は人種差別停止法！

ヘイト抗議行動終了後、中原平和公園に移動して集約集会を開かれました。

集会では「市民の力でヘイトデモを強行する差別主義者ら約二〇〇人を抗議する市民で追いやったものの、彼らは神奈川県警察に守られながら路上で記念撮影をし、大型バスに逃げ込み逃走した。この現実を怒りを持って抗議する。」としました。

▼有田芳生参院議員は「彼らは市民の怒り・抗議の中、逃走したと言える。これは昨年引き続き私たちの勝利だ。問題なのは

ヘイトデモらの先に神奈川県警がいてデモを手助けをしたという事実。予定のコース変更を事前に警察が知っていたということ。これは国会で追及していく。ヘイトスピーチ解消法の次は人種差別停止法。川崎市ではこれまで人種差別・ヘイトデモをさせない立派な条例を作っていく方向だが、川崎市民の後押しを頂いて、私は次の臨時国会で野党の力で、与党も動かし新しい法律を作り法制化をしていく。」と決意を述べました。

(文責 ブラック・キャット)



左から三浦和人氏、有田芳生参院議員、畑野君枝衆院議員、県・市会議員と参加者

